

主催：協同組合フォーラム～協同組合が活躍する場を広げるために～  
連続シンポジウム 第2回

# グローバル化の中の共済の社会的役割

2007年の生協法改定は、生協の共済事業に対して、保険業法の準用を規定しました。保険業法は、保険業界の度重なる不祥事によって、規制強化の方向で改正されており、保険並の規制が自動的に共済に適用されてしまう構造は問題です。また、改正保険業法によって自主共済が禁止されたことも、もう一つの大きな問題です。共済についての法制度は、人と人とのたすけあいのしくみである共済の性格をふまえて、独自に検討されるべきです。

おりしも、TPP(環太平洋連携協定)への交渉参加問題が浮上しています。交渉分野のひとつに「金融サービス」があり、共済へのさらなる規制を要求される恐れがあります。TPP問題に揺れる日本の共済の行方を知るうえで学ぶべき事例として、今春発効した「韓米FTA(自由貿易協定)」問題があります。すでに、韓国ポスト保険(日本の簡保にあたる)や協同組合共済への規制強化がはじまっています。グローバル化の中の共済に対する規制の動きを把握し、法制度を含め、共済のあり方と社会的役割を考える一助として、シンポジウムを開催します。

\*2012 国際協同組合年(IYC)実行委員会認定事業申請予定

●日程：9月8日(土) 13:30～16:30

●会場：浜松町フクラシア 会議室 A+B

東京都港区浜松町1-22-5 浜松町センタービル6階 TEL03-3533-7775

JR浜松町駅北口 徒歩1分、都営大江戸線大門駅 徒歩2分 (JR線路沿い・文化放送ビル隣)

●資料代：500円

<内容>

●主催者基調報告

●基調講演 「韓米 FTA と協同組合共済の展望(仮題)」

講師 パク・スンオク氏(韓国・ハンギョレドゥレ共済協同組合連合会 代表)

韓国における協同組合共済の現状と課題、韓米 FTA の共済への影響などについて、研究と実践をふまえてお話いただきます。



パク・スンオク氏

●「次期生協法見直しに向けた私たちの共同提案」へのコメント～共済の視点から～

コメント 松崎良氏(東日本国際大学)

生活クラブ連合会・消費者信用生協・グリーンコープ三者で日本生協連に提案した「共同提案」の内容について、共済研究者の立場からコメントいただきます。

●活動事例報告

反貧困たすけあいネットワーク 河添誠氏(反貧困たすけあいネットワーク代表運営委員)

日本勤労者山岳連盟 斉藤義孝氏(日本勤労者山岳連盟理事長)

●質疑応答

■協同組合フォーラム呼びかけ団体 グリーンコープ共同体、消費者信用生協、生活クラブ連合会

協同組合フォーラムでは、生協そして協同組合の社会的役割を發揮していくことをめざし、議論を深めていくための連続シンポジウムを、2012 年度に開催していきます。(第3回は福岡で2013年2月開催予定)

\*参加を希望される方は、事前にご予約をお願いいたします。(定員になり次第終了)

\*申込・問合せ先 生活クラブ連合会・企画部(前田・須永) TEL03-5285-1898 E-mail youko.sunaga@s-club.coop



2012  
国際協同組合年